

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 環境生活部 環境政策課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>7. 三番瀬の保全について</p> <p>(1) これからの三番瀬をどうしていくのか、現状を正しく認識し、県民が納得する方針を打ち出すためにも、あらゆる分野、立場の人たちが集まって議論する場が必要だと思うがどうか。</p>	<p>三番瀬について、あらゆる分野、立場の人たちが集まって議論する場が必要だと思うがどうか、とのご質問ですが、</p> <p>1 三番瀬の再生・保全については、専門家の助言や地元の意見をよく聴きながら、地元市とともに取り組んでいきたいと考えています。</p> <p>2 このため、三番瀬専門家会議を設けて専門的な見地から助言をいただくとともに、誰もが参加できる三番瀬ミーティングを開催し、広く意見を聴きながら、三番瀬の再生・保全を推進しているところです。</p>	<p>副知事 坂本 森男</p>

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表）・一般

部（局・庁）・課（室）名 環境生活部 自然保護課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>7. 三番瀬の保全について</p> <p>(2) 猫実川河口域周辺の泥干潟の生物や、自然環境としての価値について、県の認識はどうか。</p>	<p>猫実川河口域周辺は、三番瀬で唯一、淡水が流入する干潟・浅瀬でございまして、アナジャコやヤマトオサガニなどの、泥質の干潟に適した生物が多く生息する一方で、三番瀬の中では、最も奥まった場所でありまして、夏季を中心に貧酸素状態になるため、生物の生息環境としては好ましくない状況にあるものと認識しております。</p>	<p>副知事 坂本 森男</p>

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 環境生活部 環境政策課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答弁者
<p>7. 三番瀬の保全について</p> <p>(3) 猫実川河口域に人工干潟が造成されれば、いま泥干潟に生息している生物が壊滅的な打撃を受けるのは明らかだと思いが、県にその認識があるか。</p>	<p>猫実川河口域の人工干潟の造成に関するご質問ですが、</p> <p>三番瀬再生の新事業計画では、市川市塩浜2丁目の護岸前面における干潟の再生を目指すこととしており、猫実川河口域は対象としておりません。</p>	<p>副知事 坂本 森男</p>

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 環境生活部 環境政策課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>7. 三番瀬の保全について (4) 自然環境にとって取り返しのつかないダメージを与える人工干潟の造成はやめるべきではないか。</p>	<p>人工干潟の造成はやめるべきではないか、と のご質問ですが、</p> <p>1 三番瀬の再生に当たっては、少しずつ手を加え、その影響を見ながら事業を実施していく、順応的管理の原則に立って取り組むこととしています。</p> <p>2 干潟の再生についても、市川市塩浜2丁目護岸前面において小規模な試験を行ってきたところであり、その結果について検証・評価しながら、干潟の再生を目指してまいります。</p>	<p>副知事 坂本 森男</p>

平成24年2月定例県議会（本会議）における答弁要旨

（質問日：平成24年2月27日）

（代表・一般）

部（局・庁）・課（室）名 環境生活部 自然保護課

質問者 共産党 丸山 慎一 議員

質問要旨	答 弁 要 旨	答 弁 者
<p>7. 三番瀬の保全について</p> <p>(5) 7月のラムサール条約締約国会議に合わせて、県主催でシンポジウムを開催するなど、合意形成に向けた新たな取組みを検討すべきと思うがどうか。</p>	<p>1 三番瀬のラムサール条約登録については、早期登録を望む声がある一方で、登録は時期尚早との声があるなど、地元の意見は様々です。</p> <p>2 今後とも、三番瀬のラムサール条約への登録が円滑に進むよう、国と連携しながら、関係者と意見交換を重ねるなど、地元の合意に向けた調整に努めてまいります。</p>	<p>副知事 坂本 森男</p>